2026年11月10日

各　位

上場会社名　三晃金属工業株式会社
代　表　者　代表取締役社長　青木　栄一
（コード番号：1972　東証スタンダード市場）
問合せ先責任者　執行役員経理部長　宮崎　智裕
（ＴＥＬ：03－5446－5601）

2027年3月期第2四半期決算説明 ログミーFinance書き起こし記事掲載のお知らせ

2027年3月期第2四半期における決算説明の書き起こし記事が下記のとおり掲載されましたのでお知らせいたします。

投資家の皆さまの当社に対する理解の一助となれば幸いです。

記

1．2027年3月期第2四半期決算説明の概要

・公開日　2026年11月10日
・登壇者　執行役員　宮崎 智裕

2．書き起こし記事掲載先

https://finance.logmi.jp/articles/386502

※掲載先は、ログミーFinanceに帰属するページとなります。

以　上

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

2027年3月期第2四半期決算説明資料

三晃金属工業株式会社

証券コード：1972

2026年11月9日

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 目次

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

1. 会社概要 p3

2. 三晃金属工業とは p4～7

3. エンジニアリング p8～22

4. 施工事例 p23～27

5. 2027年3月期第2四半期決算概要 p28～38

6. 2027年3月期通期業績予想 p39～43

7. Q&A p44～48

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 会社概要

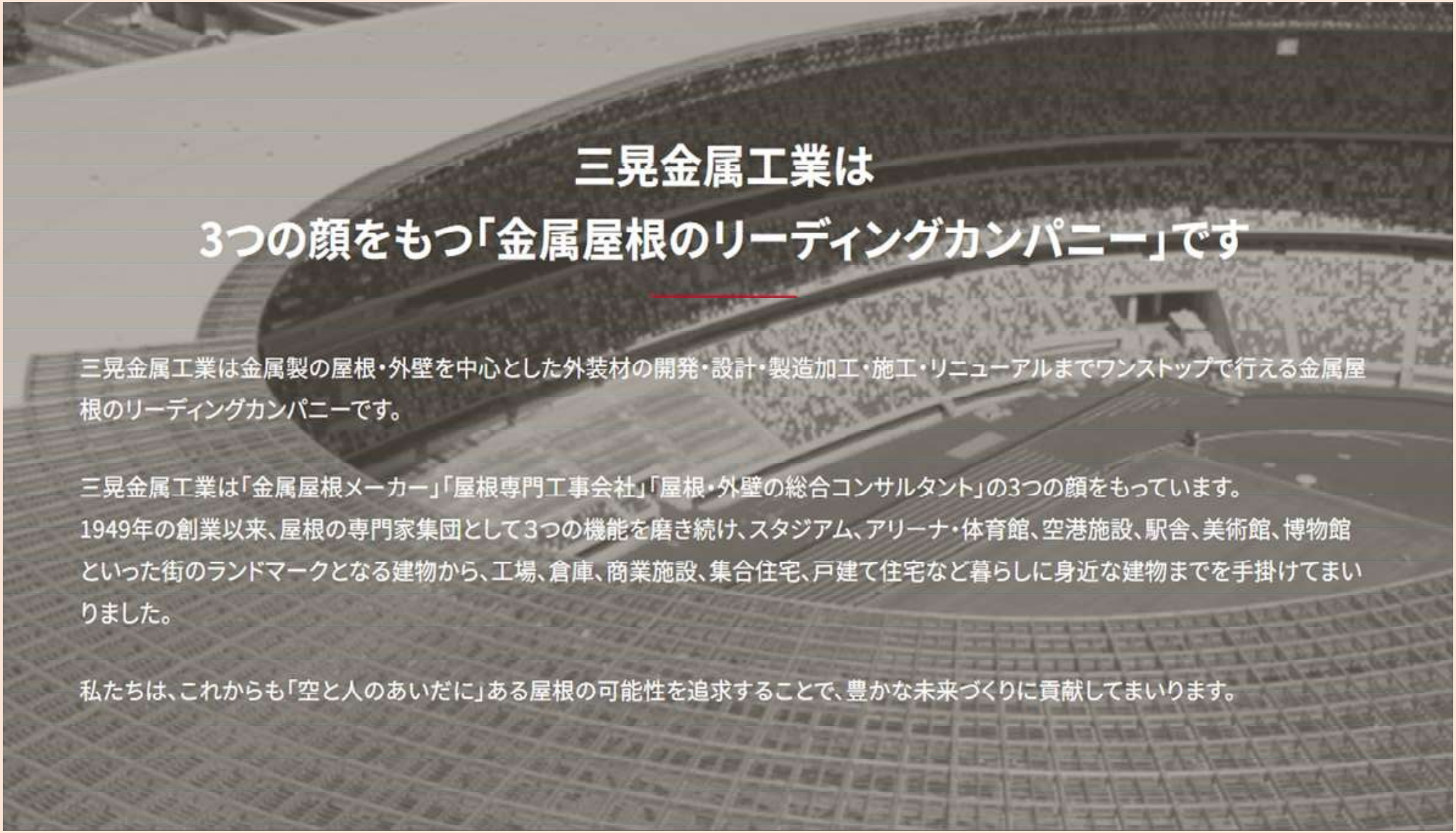
空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

名称	三晃金属工業株式会社 Sanko Metal Industrial Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長　青木 栄一
本社所在地	〒108-0014 東京都港区芝五丁目34番2号
支店・営業所	東京・南関東（神奈川県）・中部（愛知県）・関西（大阪府）・中四国（広島県）・九州（福岡県）・北海道(札幌市)・東北（宮城県）の各支店および全国主要都市に営業所を設置
製作所	深谷（埼玉県）・長田野（京都府福知山市）・光（山口県）・江別（北海道）
技術開発センター	深谷（埼玉県）
主な事業内容	屋根並びに各種建材・塗装などの製造・加工・施工・販売及びこれらに附帯する建設工事の設計・請負事業
設立	1949年6月16日
資本金	19億8,000万円
売上高	470億円（2026年3月期）
従業員数	507名（2026年3月末）
建設業の許可	国土交通大臣許可（特-6）第3319号 建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、鋼構造物工事業、造園工事業 国土交通大臣許可（般-6）第3319号 屋根工事業、板金工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業
建築士事務所	一級建築士事務所登録　東京都知事登録第22326号
株式	東証スタンダード市場上場 大株主：日本製鉄株式会社、日鉄物産株式会社

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 三晃金属工業とは

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko



三晃金属工業は
3つの顔をもつ「金属屋根のリーディングカンパニー」です

三晃金属工業は金属製の屋根・外壁を中心とした外装材の開発・設計・製造加工・施工・リニューアルまでワンストップで行える金属屋根のリーディングカンパニーです。

三晃金属工業は「金属屋根メーカー」「屋根専門工事会社」「屋根・外壁の総合コンサルタント」の3つの顔をもっています。
1949年の創業以来、屋根の専門家集団として3つの機能を磨き続け、スタジアム、アリーナ・体育館、空港施設、駅舎、美術館、博物館といった街のランドマークとなる建物から、工場、倉庫、商業施設、集合住宅、戸建て住宅など暮らしに身近な建物までを手掛けてまいりました。

私たちは、これからも「空と人のあいだに」ある屋根の可能性を追求することで、豊かな未来づくりに貢献してまいります。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ Sankoの3つの顔（メーカーとしての顔）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社

1. 金属屋根の歴史を作ってきたメーカーとしての顔

当社は1949年に創業し、戦後日本の復興に金属屋根の製造・施工で貢献することから始まりました。

1954年には、従来は一定の長さの金属板をつなぎ合わせていた屋根材を「長尺屋根」と呼ぶロール成型する屋根材を開発し、屋根工事を機械化・効率化しました。その後「折版構造」を開発し、高度経済成長期の旺盛な金属屋根需要に応えてきました。

今では日本中の鉄骨造建築物のスタンダードとして採用されている「ハゼ折版（せっぱん）」や「瓦棒（かわらぼう）」と呼ばれる金属屋根は、三晃金属工業が世に送り出した屋根工法です。



その後も多様なニーズ（大規模化、高強度化、意匠性、高断熱、高遮音･･･）に応える商品開発を続けており、近年は「省力化・省人化」「高機能」「ソーラー・環境」をテーマに新しい商品・工法の開発に取組んでいます。

こうした取り組みは、自社に実証実験を行う技術開発部門を有し、屋根を構成する専用部材まで一貫して設計・製造をしている三晃金属工業ならではの強みです。

また、プレハブハウスメーカー向けの屋根材・金属加工部材の製造も手掛けており建てやすさ、住みやすさに貢献しております。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 日本最大の屋根工事会社としての顔

当社は毎年およそ300万㎡に及ぶ（東京ドーム64個分！）の屋根・外壁工事を施工する日本最大の屋根工事会社です。

全国に50か所の事業所と500社を超える施工協力会社「三友会」のネットワークを活かし、自社製品の製造～設計～施工まで一貫した「責任施工」体制を実現しています。

特に大規模な工事、異形変形屋根を持つ建物の工事においては着工前の設計と計画が重要となり、当社と三友会がともに積み重ねてきた屋根の専門技術と豊富な経験が必要不可欠です。



また従来の施工力向上にむけた取り組みに加え、三友会会員の施工技能向上と技術伝承、新規入職者の支援のため、埼玉県深谷市に職人養成機関「三晃クラフトアカデミー」を2024年に立ち上げ、業界の発展と施工技術の向上に取り組んでいます。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ Sankoの3つの顔（コンサルタントとしての顔）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

3. 屋根・外壁の総合コンサルタントとしての顔

当社はこれまで蓄積してきた知見を活かし、我が国を代表する様々なプロジェクトで計画段階から携わってまいりました。

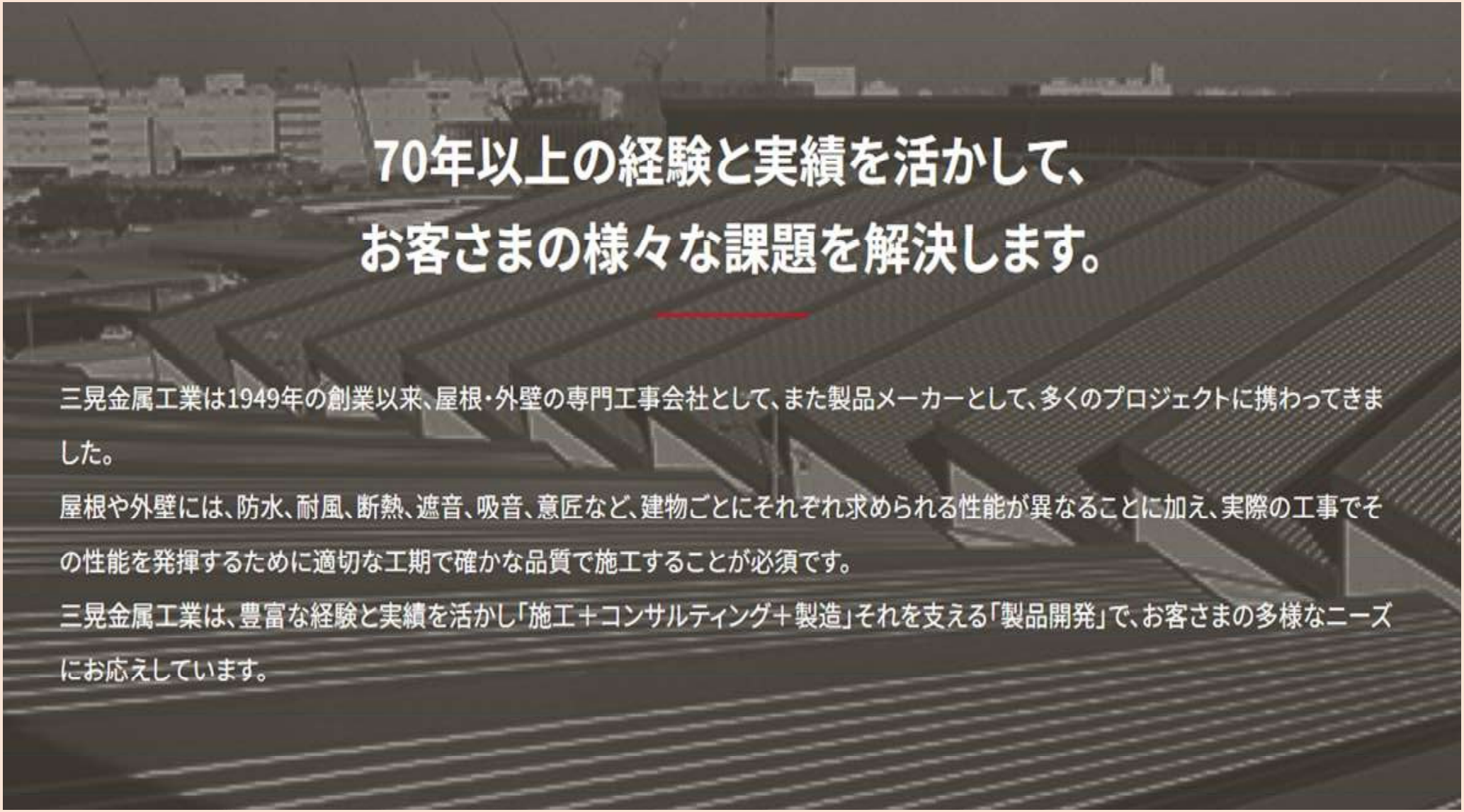
デザインを実現するための意匠面の提案はもちろん、求められる性能（耐久性、耐風圧力、断熱性能、遮音性能、雨量検討、耐積雪性能など）に応えるための技術提案から、製品のCAD・BIMデータの提供、施工計画の提案といった、設計から施工までトータルソリューションを提供いたします。



近年では工場の操業や体育館の使用を止めることなく屋根・外壁の改修を行い、美観・断熱性能の向上、屋根上に太陽光発電システムの設置を行うなどのご要望をいただき、これまでの知見を活かした「製品＋計画＋工事」をトータルで提案することも増えてまいりました。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ エンジニアリング

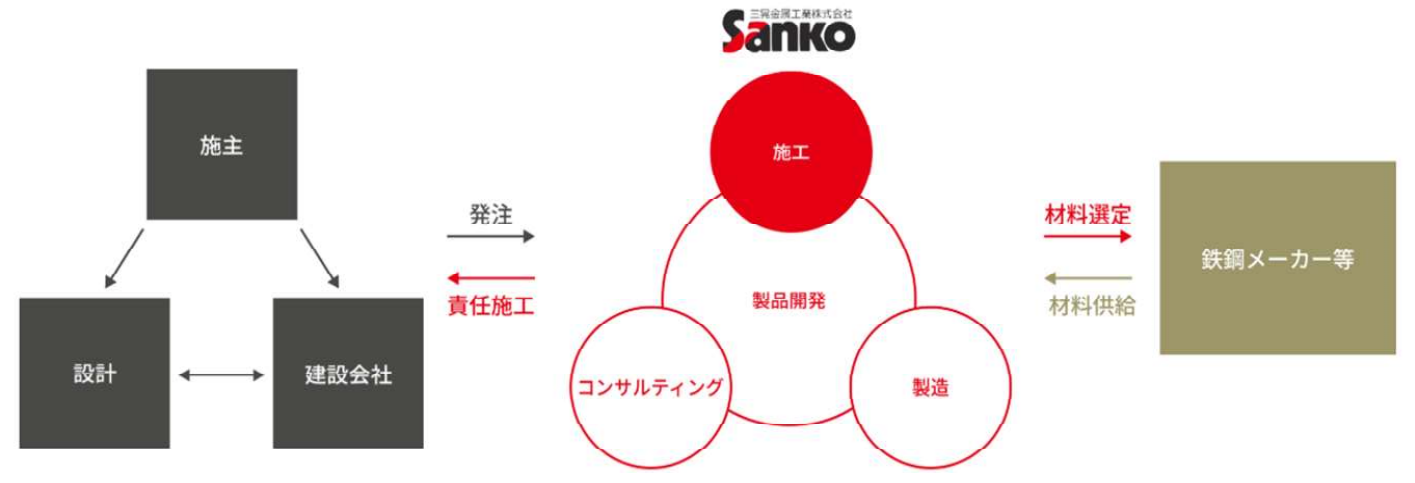


© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 1. 施工

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

当社は、非住宅鉄骨造の建物を中心に全国各地の屋根・外壁工事を施工しております。
北は北海道から南は沖縄まで、全国に展開している支店・営業所と500社を超える三友会との強固なネットワークで今日も確かな品質の屋根・外壁を施工しています。



プロジェクトの計画～完成まで

プロジェクトのスムーズな進行のために、当社の豊富な実績と経験を活かした施工計画を立案します。
着工時は確実な安全管理と高い品質を実現するための施工管理を実施します。





© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 1. 施工（三友会①）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

信頼できる施工協力会社＝三友会と共に（責任施工体制）

当社の施工力の源泉は、信頼できる施工協力会社である「三友会」を中心にした全国各地での施工ネットワークです。
熟練した技術者とともに品質管理に徹底的にこだわり、どの地域でも一貫して高い品質の施工を実現いたします。





三友会とは

三晃金属工業株式会社の「責任施工体制」を全国ネットワークで実現する施工協力会社の団体です。
昭和32年に全国十数社で設立されてからそのネットワークを拡げ、現在に至ります。
三晃金属工業と三友会は車の両輪であり、両者の協力体制のもと、数々の物件を施工してまいりました。

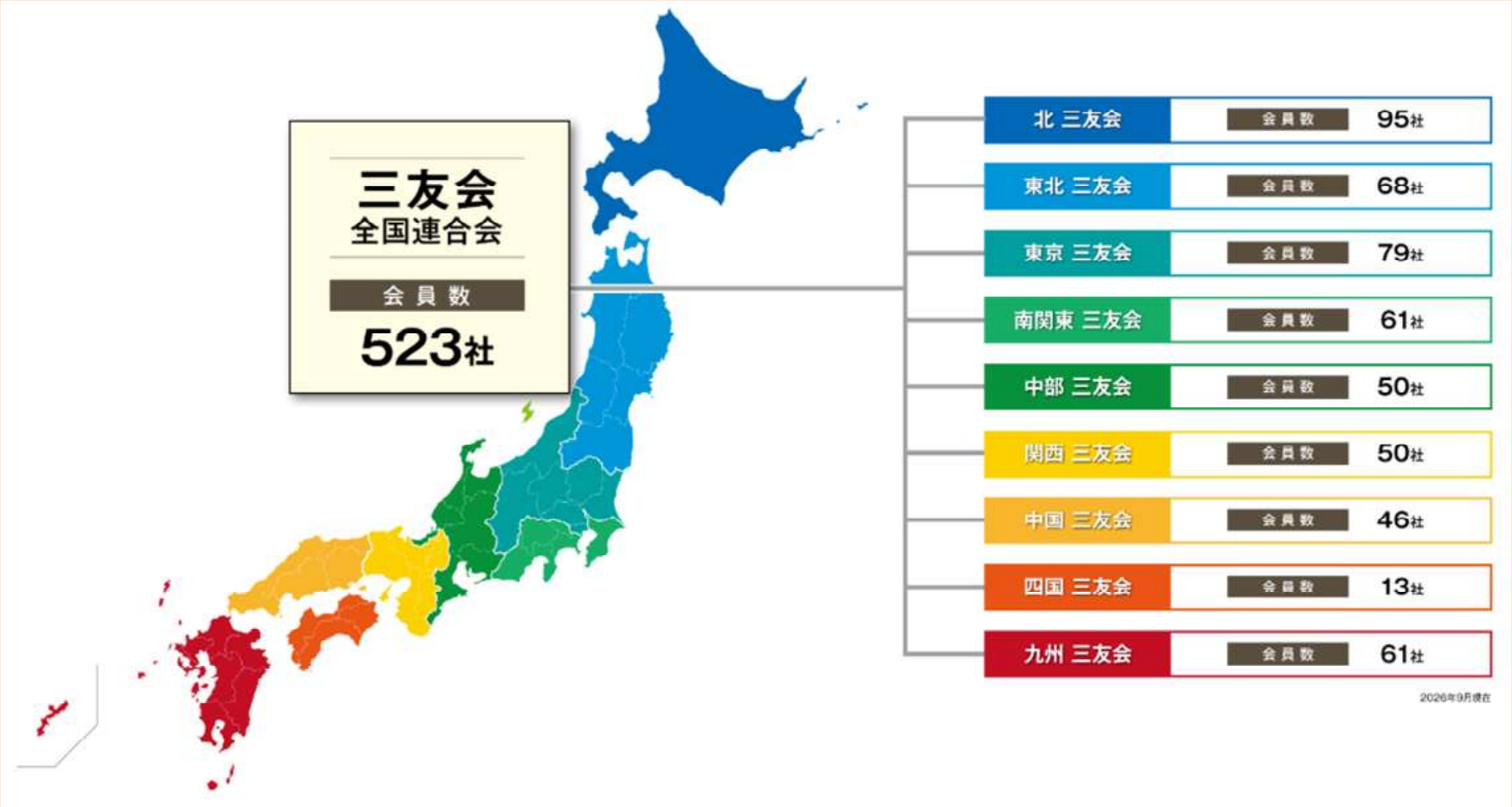
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 1. 施工（三友会②）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

高い施工動員力と優れた施工技術

三晃金属工業と三友会は、製造から施工までを一貫して行う「責任施工」を実現しています。
全国500社を超える三友会のネットワークを活かし、全国の工事現場で屋根・外壁の施工を担い、数々の大規模工事、難工事を仕上げてきました。



© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 1. 施工（三晃クラフトアカデミー）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

職人向け施工研修で施工品質と安全管理レベルを向上

三晃金属工業は、三友会とともに施工品質と安全管理レベルの向上のために各種技能教育を実施しています。
2024年には三友会に入職した若手職方を対象とした教育制度として「三晃クラフトアカデミー」を開校しました。
これからも三晃金属工業は、三友会とともに成長し確かな「責任施工体制」を実現してまいります。

三晃クラフトアカデミー

三晃金属工業は、三友会の皆様が「人」について抱えている課題や悩みを解決すべく若い職人の養成機関「三晃クラフトアカデミー」を立上げました。
大きな目的は2つです。
1つ目はモノづくりを楽しみ、誇りを持った職人を育てること。
2つ目は、現場で活躍できる若手を増やすことで業界全体の「未来」を作り出すこと。
今後も三友会の協力を得ながら、職人育成に注力していきます。

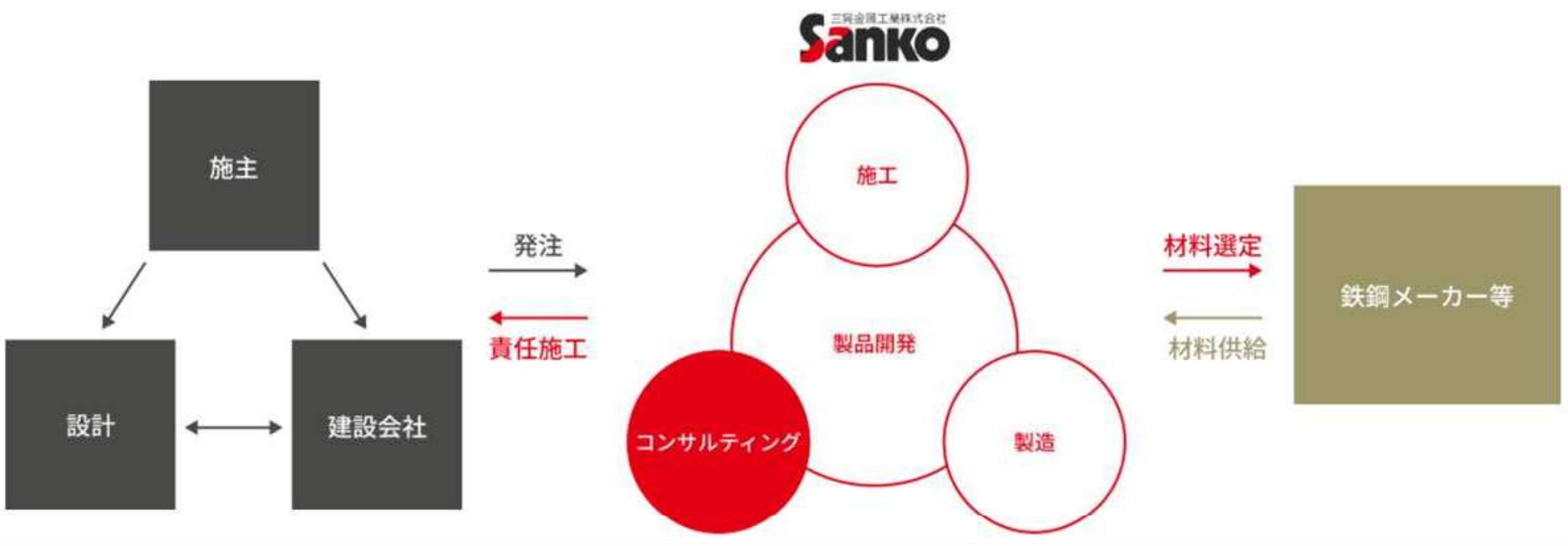




© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 2. コンサルティング

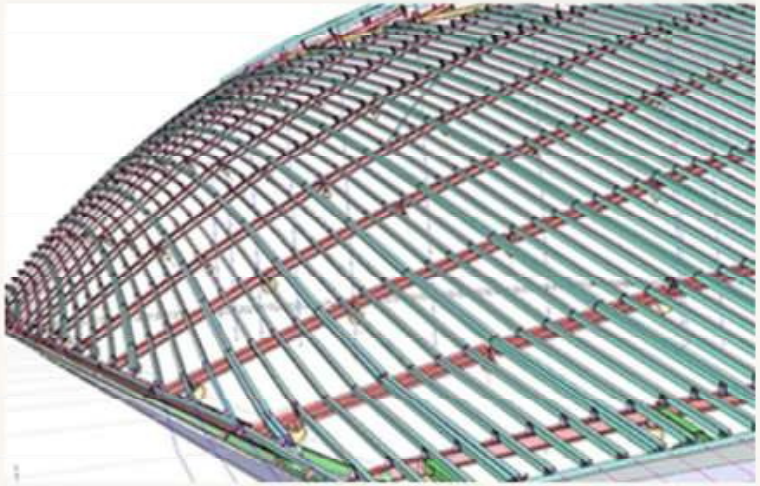
曲面や複雑な形状については、3D CADやBIMの3Dモデルでのシミュレーションによる検証を行います。
材料のねじれやひねりなども再現することで、さまざまな建物に合う製品や納まりを提案しています。
特殊な施工や形状、試作などではモックアップによる実物での検証により、工事現場における製品の実現性を確認しています。



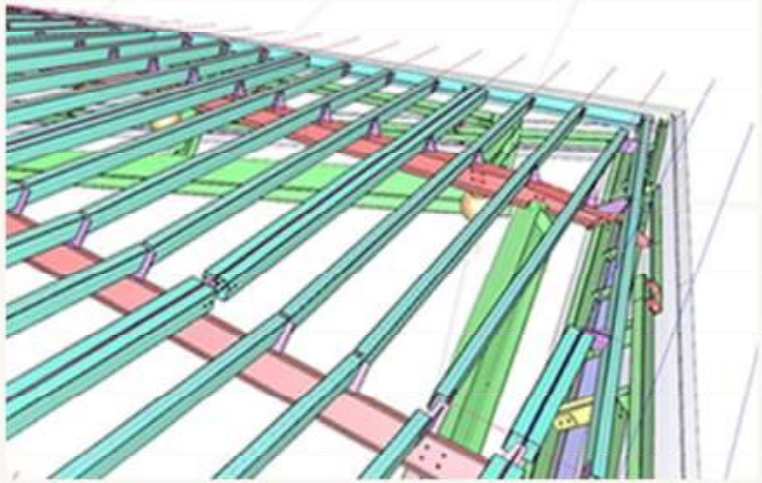
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

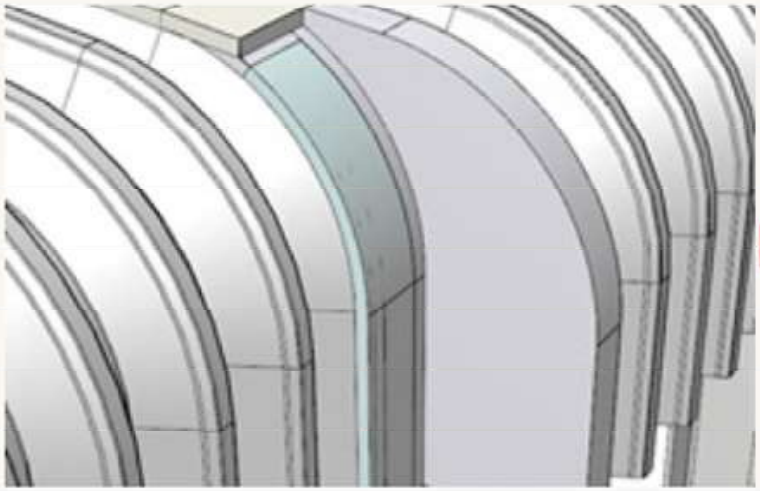
CADによる検証

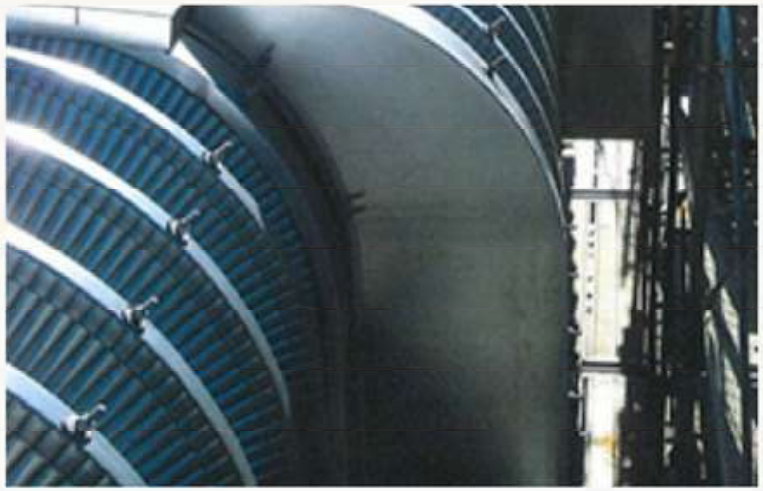


複雑な屋根形状を3D化し各種の事前検討を行っています。



適切な下地の配置や、納まりを提案します。





通常の施工図では分かりづらい納まりをビジュアル化することで、問題点の洗い出しや、スムーズな打合せに役立てます。

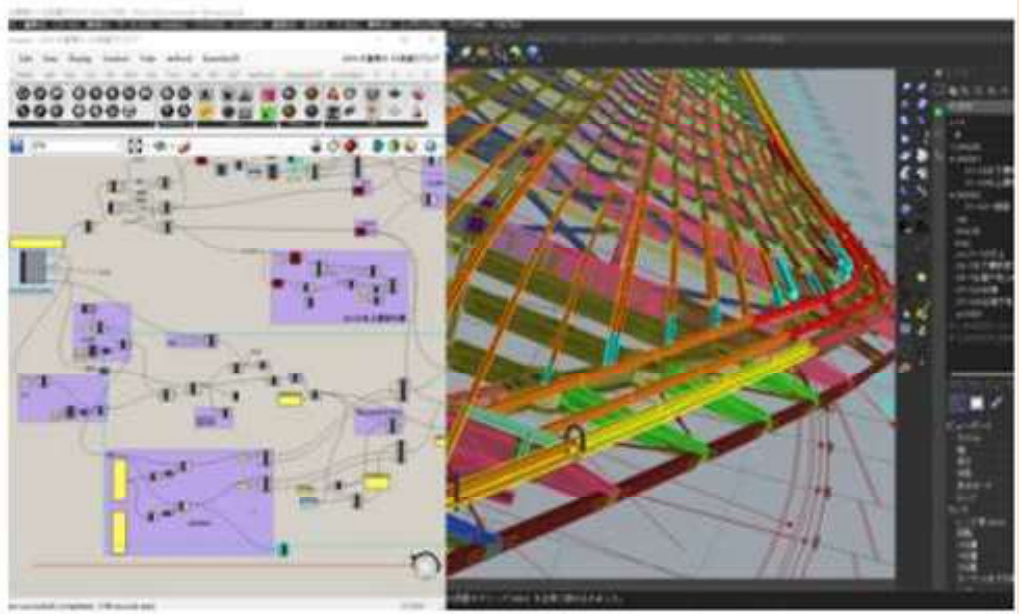
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 2. コンサルティング(屋根局面対応・屋根性能検討)

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

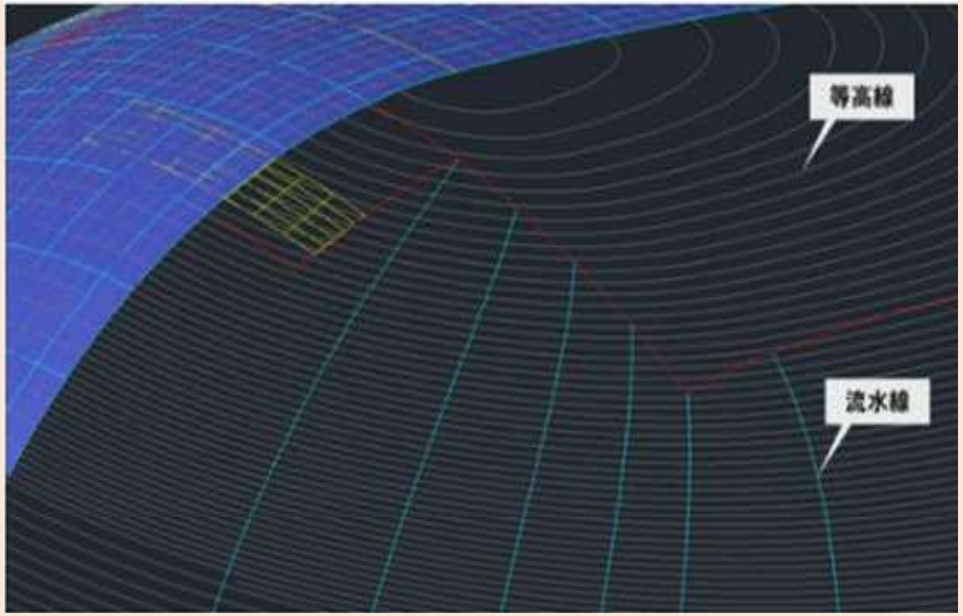
屋根局面対応

BIMの普及に伴い、当社では屋根設計にアルゴリズミックデザインを取り入れています。曲面への屋根材割付や下地部材の配置について、短時間で異なるパターンを繰り返し検証する事が可能となります。



屋根性能検討

デザインと共に屋根曲面の特性に合わせ、屋根に求められる性能を様々な角度からご提案いたします。



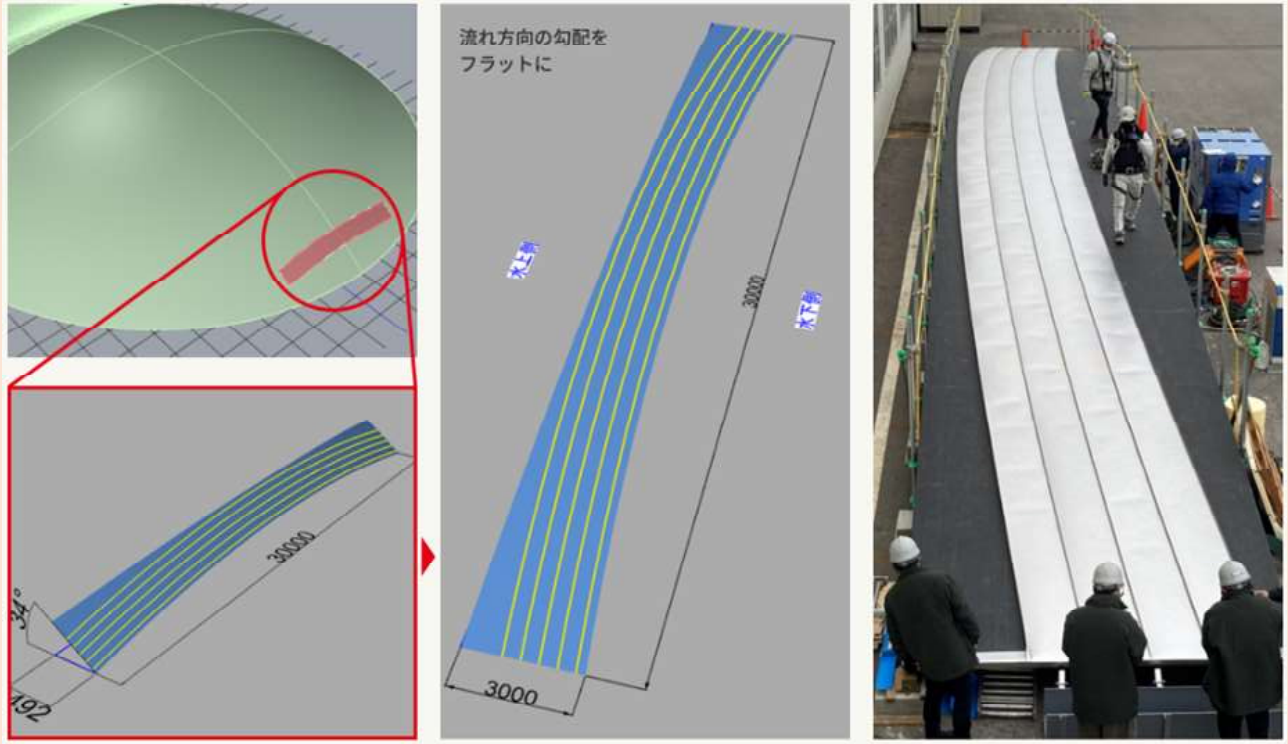
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 2. コンサルティング（モックアップによる検証）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

モックアップによる検証

モックアップは、当社の技術開発センター（埼玉県）にて製作し、実大による検証を行っています。
複雑な曲面屋根などへの製品追従性や特殊加工などの再現性確認とともに、建築現場での実現性や施工安全性の検討に役立てています。



30mキャンバー（横曲がり）の検証図

30mキャンバー（横曲がり）の
成型及び施工検証



屋根材、谷樋部の施工検証



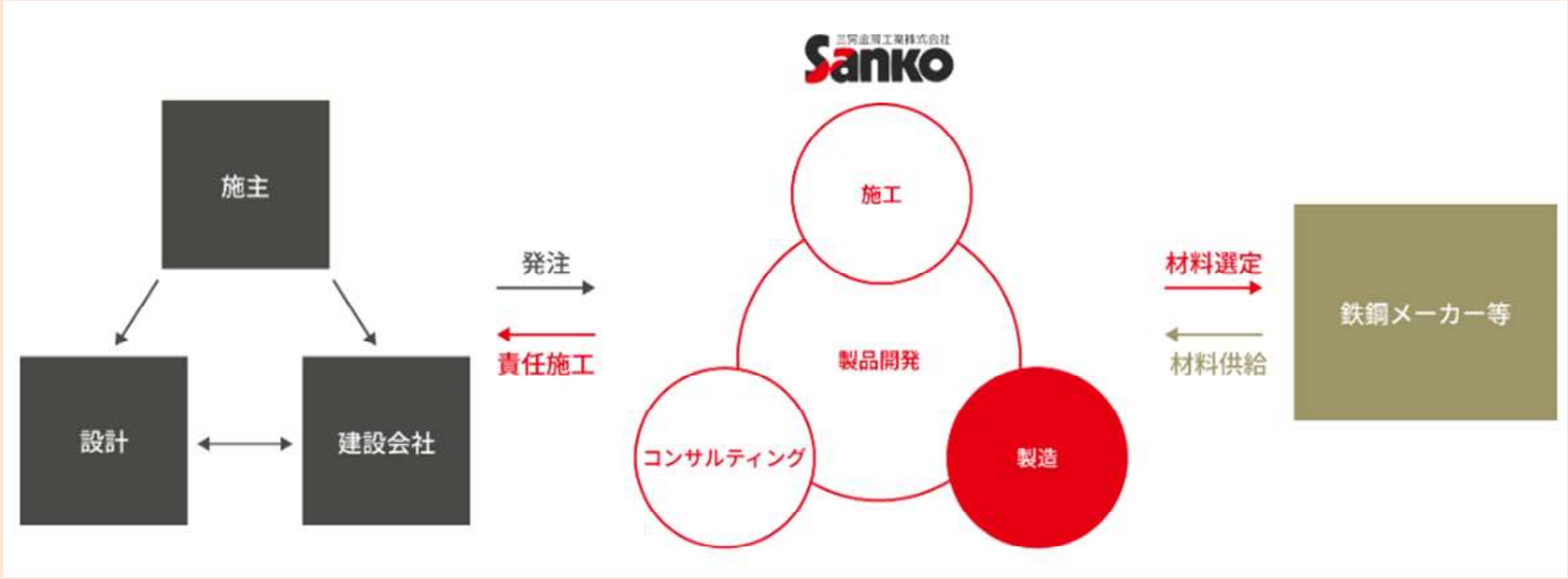
外壁材斜め貼りの防水検証

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 3. 製造

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

当社の製作所では、オリジナル製品の金属製屋根・外壁製品と専用部材を一貫製造しています。
全国に広がる4ケ所の生産拠点と11ケ所のサービス拠点を通じて、日本全国へ配送、お客様に迅速に対応しています。
様々な設備と熟練したスタッフが一体となり、高品質な製品の提供に取組んでいます。



© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 3. 製造（製造拠点）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

深谷製作所

所在地	｜	埼玉県深谷市幡羅町1-8-12
開設年月	｜	昭和39年12月
敷地	｜	91,064㎡
建物	｜	25,318㎡
製造品目	｜	長尺の屋根・外壁製品、住宅の屋根製品

江別製作所

所在地	｜	北海道江別市工栄町26-15
開設年月	｜	昭和48年11月
敷地	｜	17,723㎡
建物	｜	4,380㎡
製造品目	｜	長尺の屋根製品、住宅の屋根製品

長田野製作所

所在地	｜	京都府福知山市長田野町1-17
開設年月	｜	昭和49年9月
敷地	｜	37,624㎡
建物	｜	12,554㎡
製造品目	｜	長尺の屋根・外壁製品、住宅の屋根製品



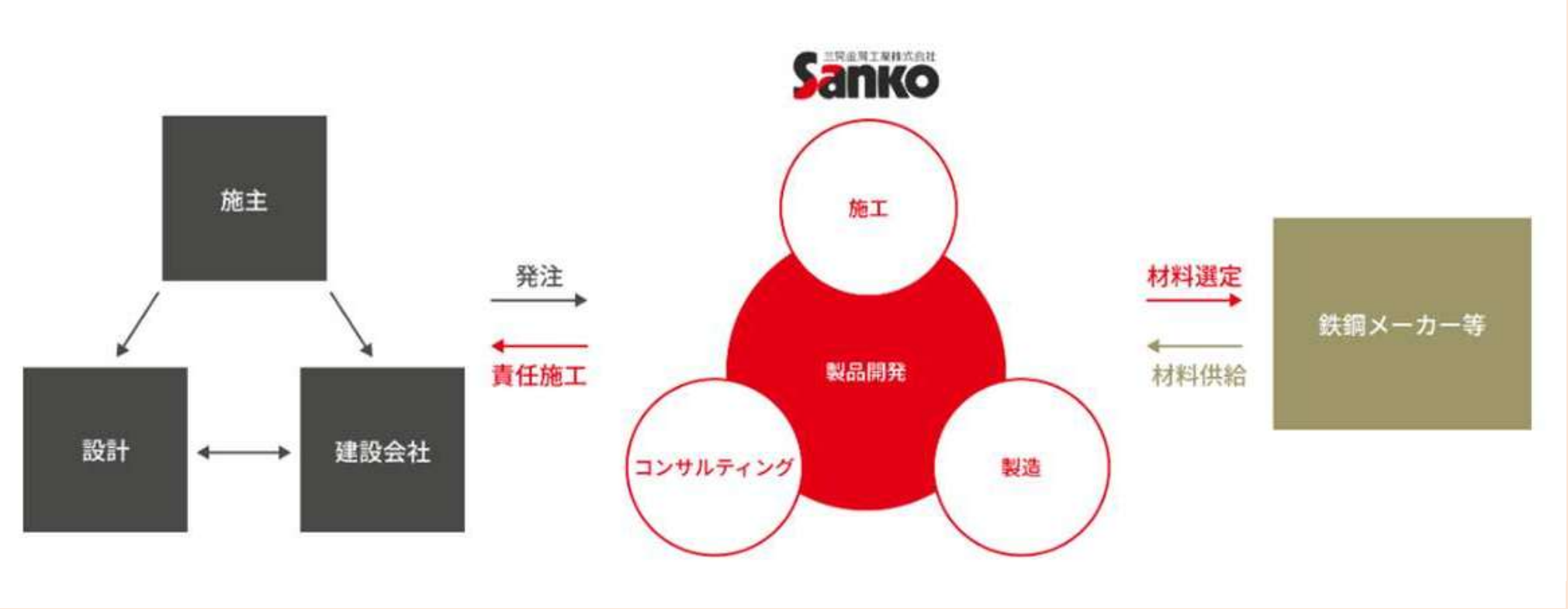
光製作所

所在地	｜	山口県光市小周防虹川1100-7
開設年月	｜	平成29年4月
敷地	｜	19,578㎡
建物	｜	6,233㎡
製造品目	｜	長尺の屋根製品、住宅の屋根製品

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 4.製品開発

当社は、設立当初に鋼板スレートの開発を手掛け、その後も折版（せっぱん）や瓦棒（かわらぼう）などの製品を開発してまいりました。
1990年には技術開発センターを開設し、新しい屋根材および外壁材の製品開発に挑戦し続けています。



© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 4.製品開発（技術開発センター）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

技術開発センターでの取り組み

技術開発センターでは、お客様および社会のニーズに応えるため、動風圧試験装置や環境試験装置など様々な試験設備を導入し、厳格な試験を実施しています。
成型材だけでなく専用部材まで一貫して設計・製造を行う数少ないメーカーとして、屋根・外壁を実際に組み立てた状態を再現して総合的に研究開発を行っています。

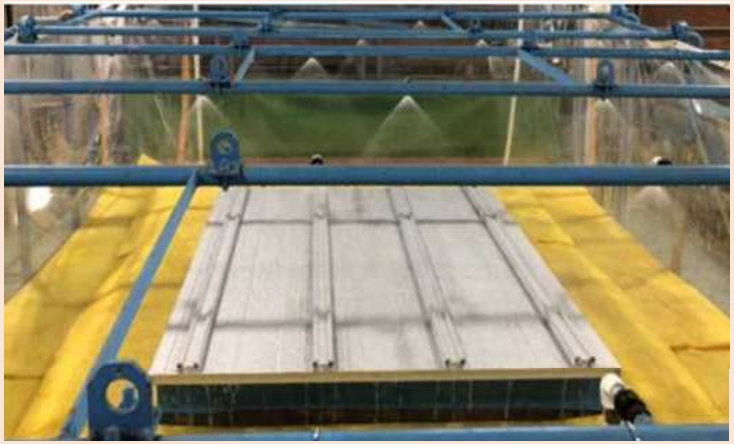


技術開発センター（埼玉県）

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

試作・検証試験



耐風圧・水密試験

動風圧試験装置を使用し、実際の使用条件に近い負荷をかけ、屋根・外壁の耐力の確認や水密性能の確認を行っています。



熱貫流試験

環境試験装置を使用し、実際の使用条件に近い、温度や湿度を再現し、屋根・外壁の断熱性能の確認を行っています。



金具の引張試験

万能試験機を使用し、タイトフレームの引張荷重をかけた時の強度と破壊状況を確認しています。



折版屋根材の負曲げ試験

載荷試験装置を使用し、折版屋根材の曲げ強度の確認を行っています。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 4.製品開発（試作・検証試験②）



折版屋根の耐火社内試験
防耐火試験炉を使用し、屋根30分耐火性能の確認を行っています。



フィールドテスト
積雪状況など、自然環境下における耐力および挙動などの確認試験を行っています。



太陽電池 フィールドテスト
深谷製作所長尺第1、2、3工場、プレス工場、事務所上屋にソーラーシステムを設置し、発電状況などの実地テストを行っています。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 施工事例①エディオンピースウイング広島

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko



用途	スポーツ施設	形状	アーチ　異形・変形　カービング加工　外壁
所在地	広島県広島市	設計	大成・フジタ・広成・東畑・EDI・復建・あい・シーケィ共同企業体
施工	大成・フジタ・広成・東畑・EDI・復建・あい・シーケィ共同企業体		

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 施工事例②あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko



用途	スポーツ施設	形状	アーチ　異形・変形　カービング加工
所在地	香川県高松市	設計	SANAA
施工	大林・合田・菅特定建設工事共同企業体		

eserved.

➢ 施工事例③KUROKIRI STADIUM/宮崎県山之口陸上競技場

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko



所在地：宮崎県都城市
施工：清水・都北・下森特定建設工事共同企業体

屋根仕様：R-T工法
設計：佐藤・益田建築設計・工事監理業務共同企業体

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 施工事例④たかまつミライエ

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko



用途	庁舎・事務所	形状	異形・変形　ドーム　テーパー
所在地	香川県高松市	設計	久米設計JV
施工	合田JV		

© 2020 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 施工事例⑤エムウェーブ長寿命化改修工事



所在地：長野県長野市
施工：鹿島・飯島・高木特定建設工事共同企業体

屋根仕様：R-T工法
設計：久米・長野設計共同企業体

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期決算概要

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期第2四半期決算概要

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 2027年3月期　第2四半期決算概要

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

事業環境

- 2026年4月～2026年9月の全国非住宅鉄骨造着工床面積は、**前年同期比14.1%減少**
- 全国非住宅鉄骨造着工床面積の内、当社工事物件に関係する工場・倉庫においては**前年同期比14.3%減少**
- 諸資材価格は総じて**高い水準で推移**

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 業績ハイライト

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

売上高は、前工程遅れや天候不順等の影響で前年同期比4.2%減収
経常利益は、減収による売上利益減があったものの、売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の減少、営業外収益の増加により前年同期と同水準を維持　ROSは0.3%改善の7.6%

単位：億円

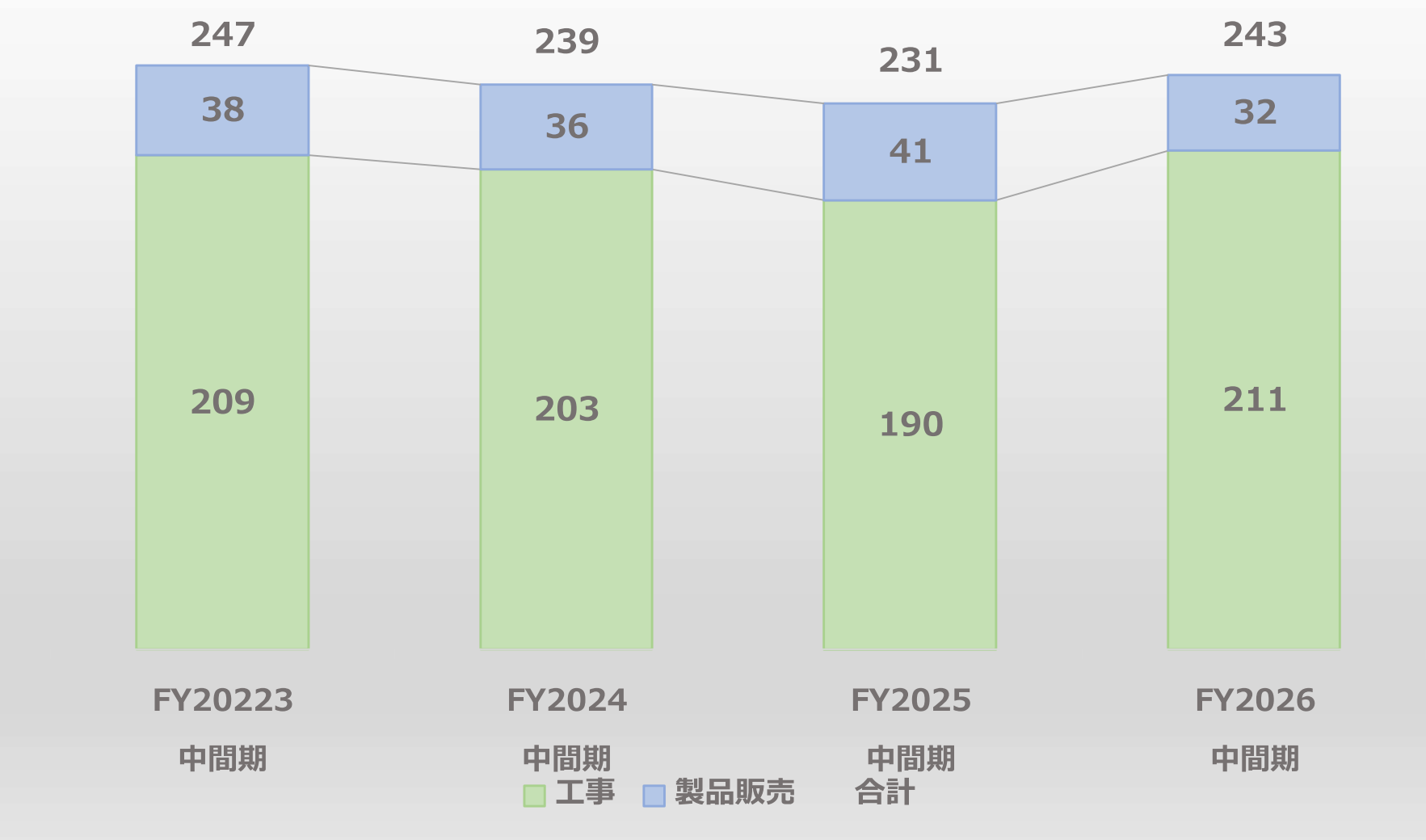
	FY2023 中間期	FY2024 中間期	FY2025 中間期	FY2026 中間期	対 FY2025
売上高	204	209	223	214	△9
売上総利益	43.3	44.5	45.7	44.6	△1.1
売上総利益率	21.1%	21.3%	20.4%	20.8%	+0.4%
販売費及び一般管理費	27.6	28.9	29.6	28.9	△0.7
営業利益	15.6	15.6	16.0	15.7	△0.3
営業外損益	0	0.2	0.3	0.6	+0.3
経常利益	15.6	15.8	16.4	16.3	△0.1
ＲＯＳ(売上高経常利益率)	7.7%	7.6%	7.3%	7.6%	+0.3%
中間純利益	10.6	10.9	11.3	11.0	△0.3

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 受注高

着工面積減少の中、国内生産施設、物流倉庫、スポーツ施設、鉄道関連施設などの大型新築工事物件の受注により、前年同期比12億円(5.0%)増加

単位：億円

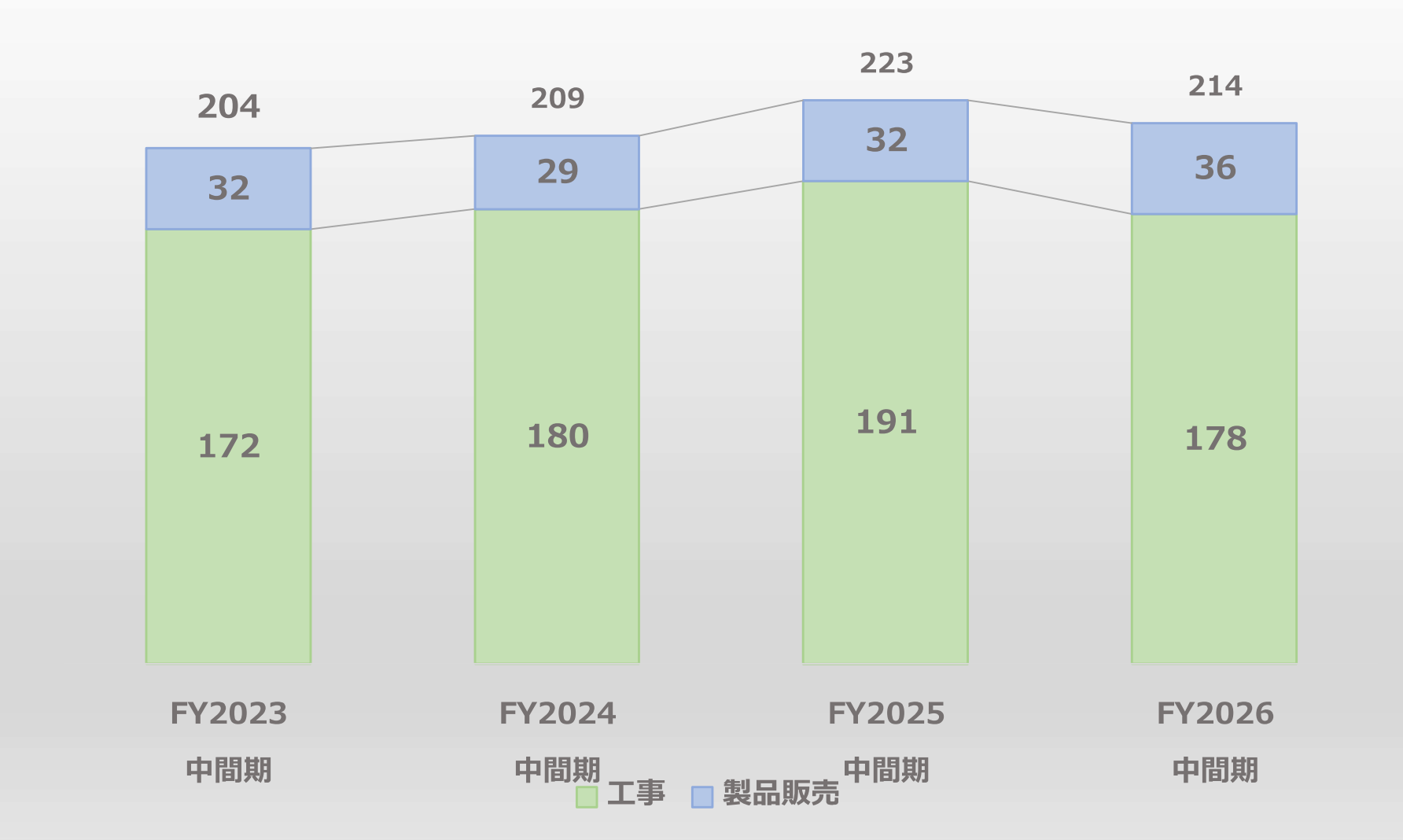


© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 売上高

工事においては、前工程の遅れ、天候不順などの影響を受け12億円の減収、製品販売においては、屋根事業成型品販売の増加により3億円の増収、売上高全体としては前年同期比9億円(△4.2%)減収

単位：億円

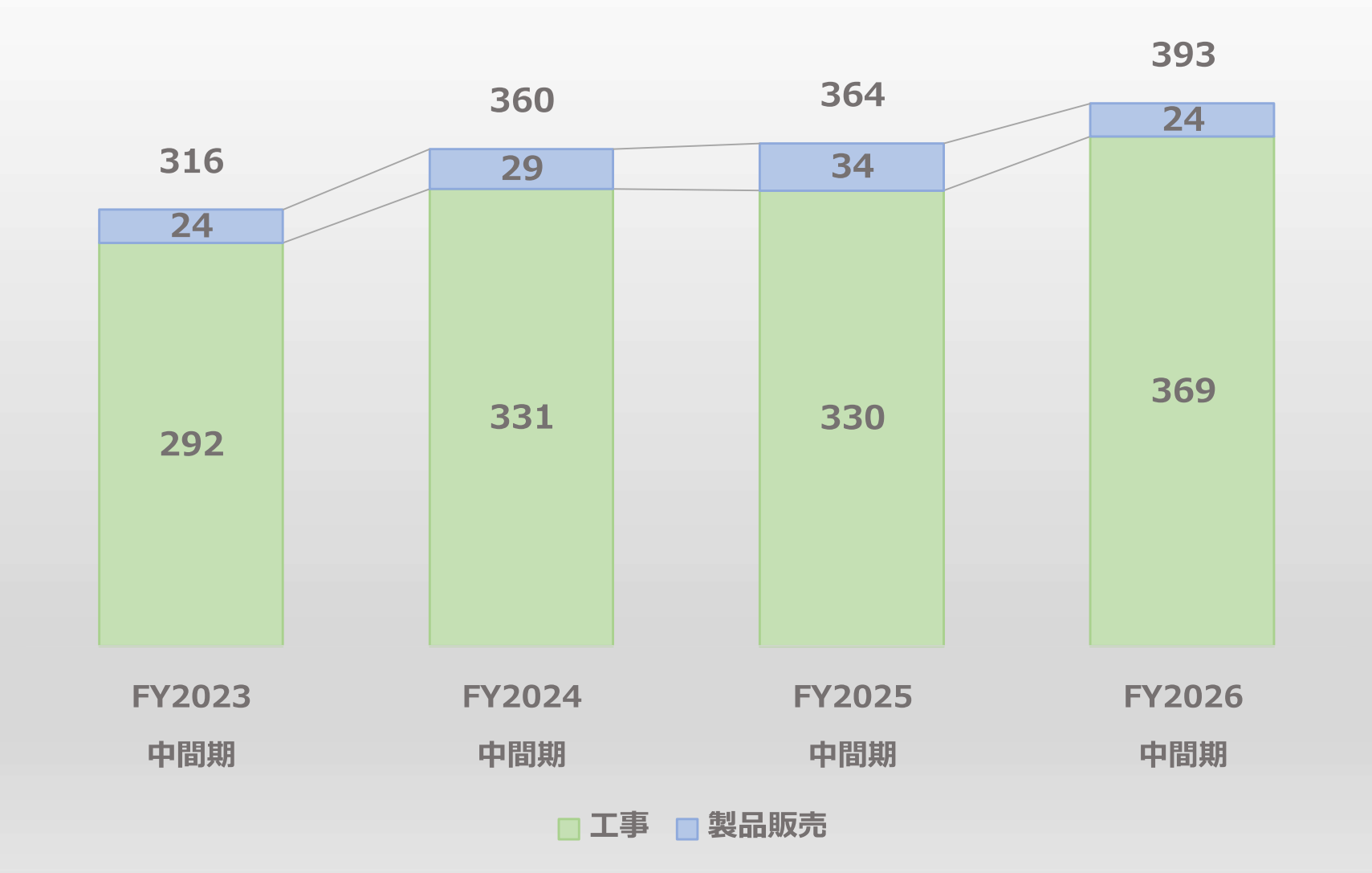


© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 受注残高

工事受注残高増加により前年同期比29億円(+8.2%)増と過去最高を大幅に更新

単位：億円



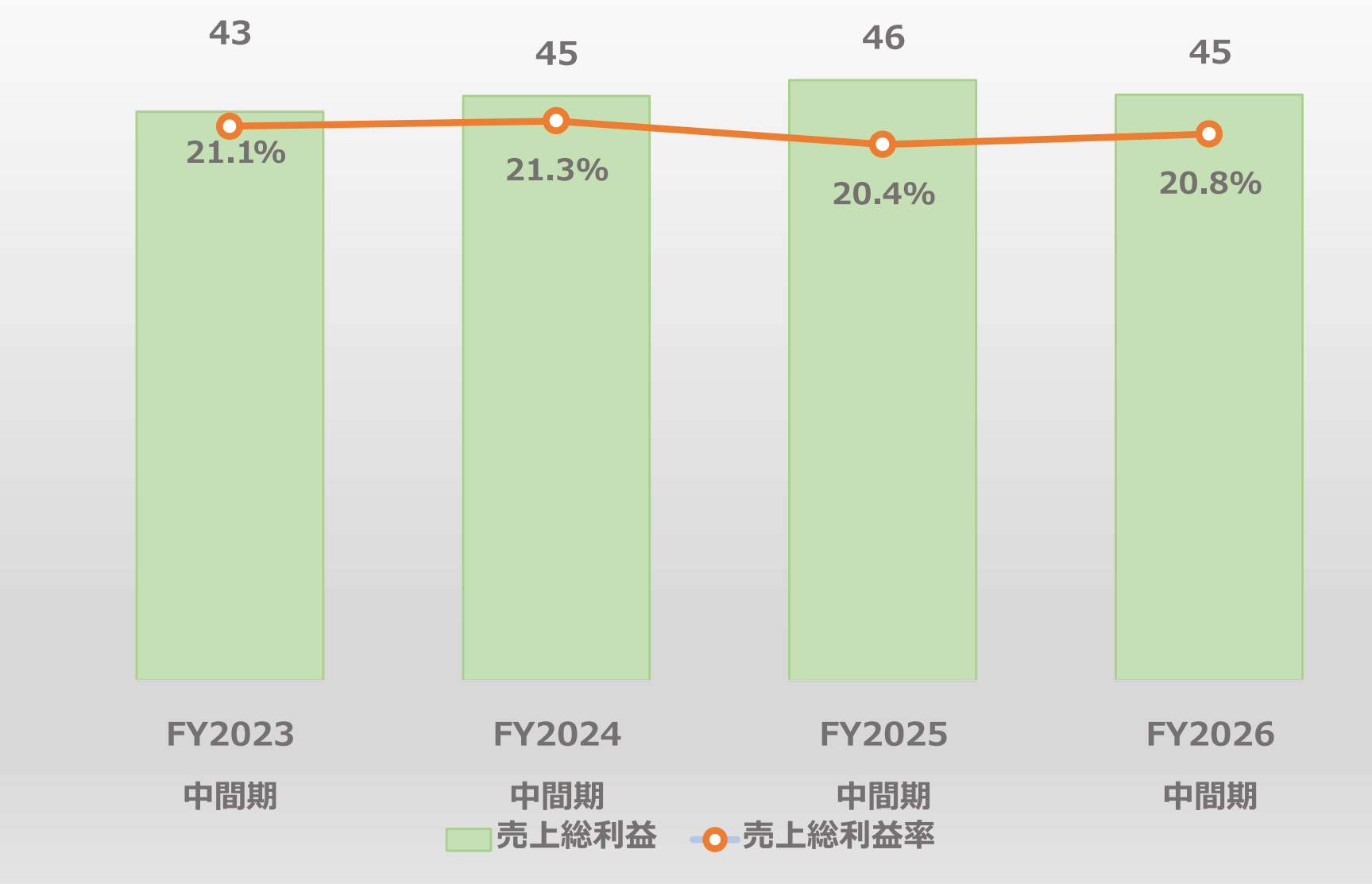
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 売上総利益

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

減収影響△1.9億円、売上総利益率の改善効果+0.8億円より前年同期比1.1億円（△2.4%）減益

単位：億円



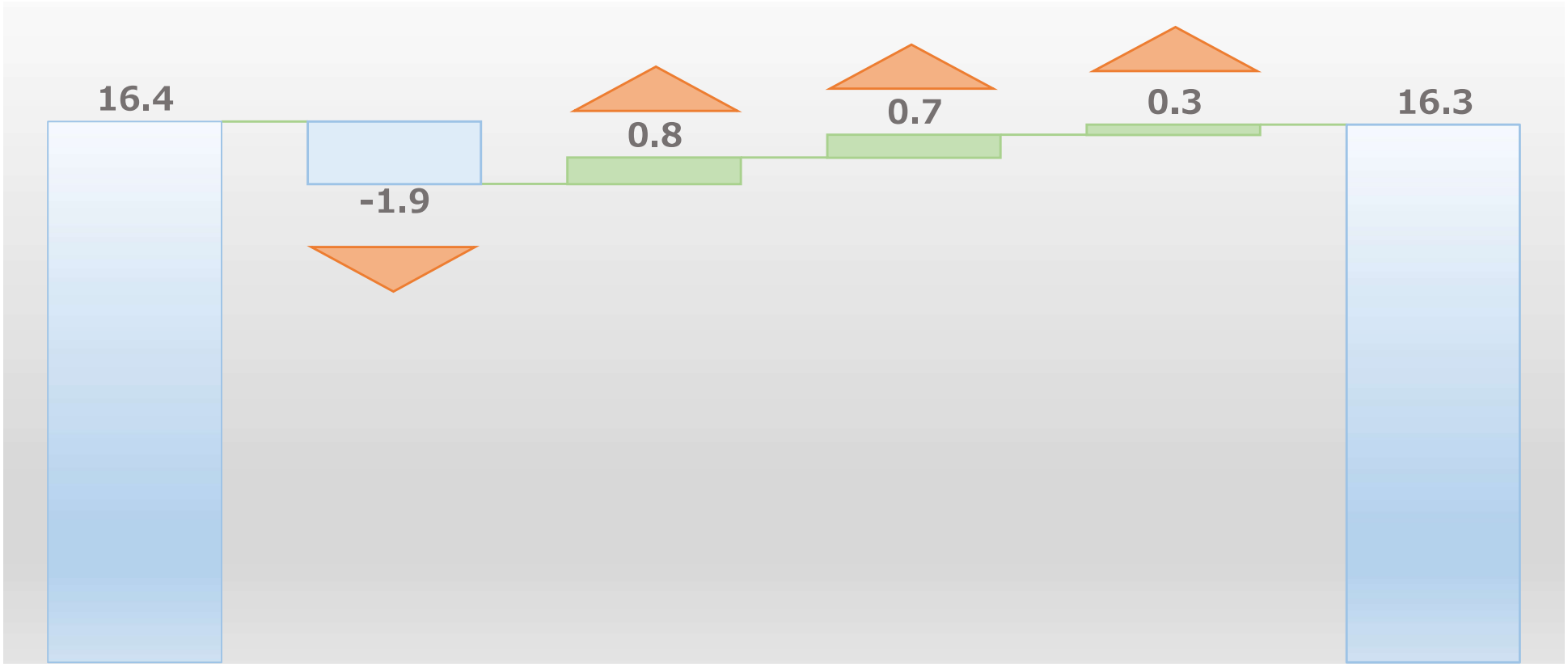
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 経常利益増減分析

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

減収による売上利益減△1.9億円、売上利益率改善による売上利益増0.8億円、一般管理費減少0.７億円、営業外損益改善0.3億円より、前年同期並みの16.3億円を計上

単位：億円



© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

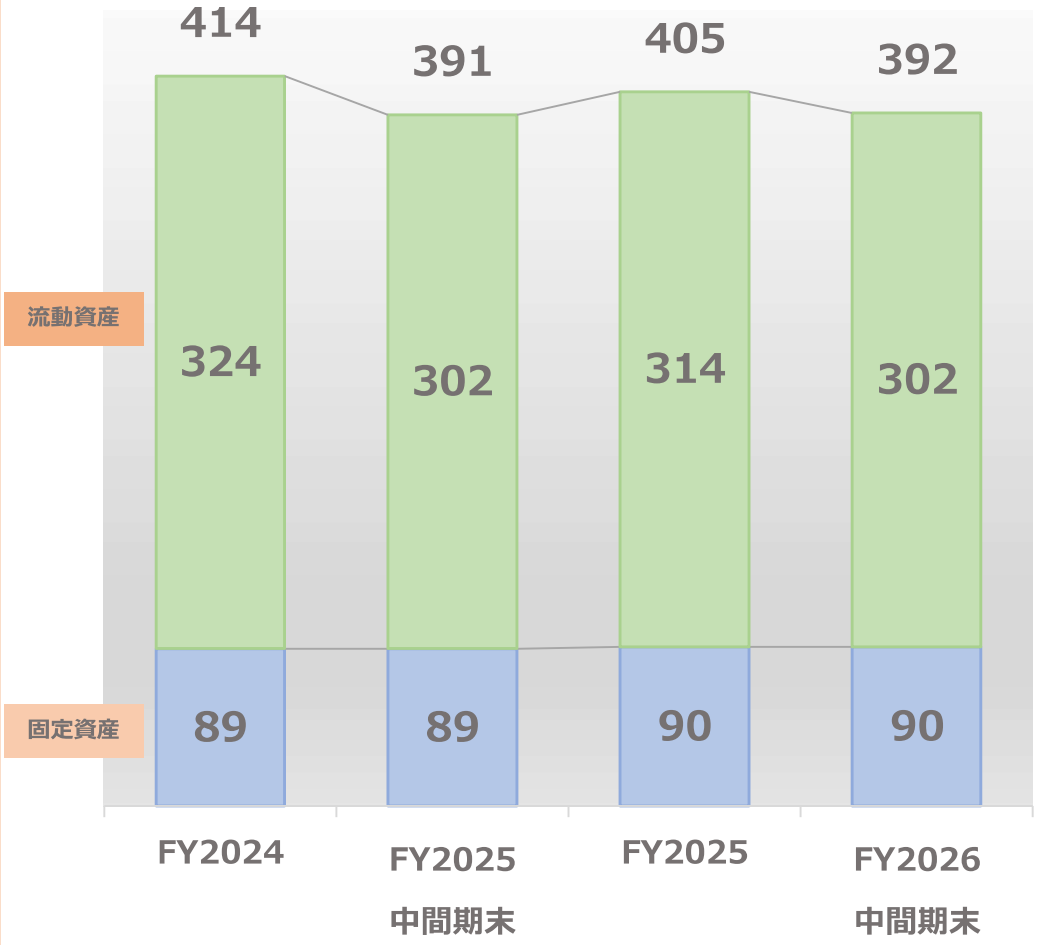
財政状況

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

資産の部は、流動資産の減少を中心に13億円減少
負債・純資産の部は、負債が17億円の減少。純資産は4億円の増加

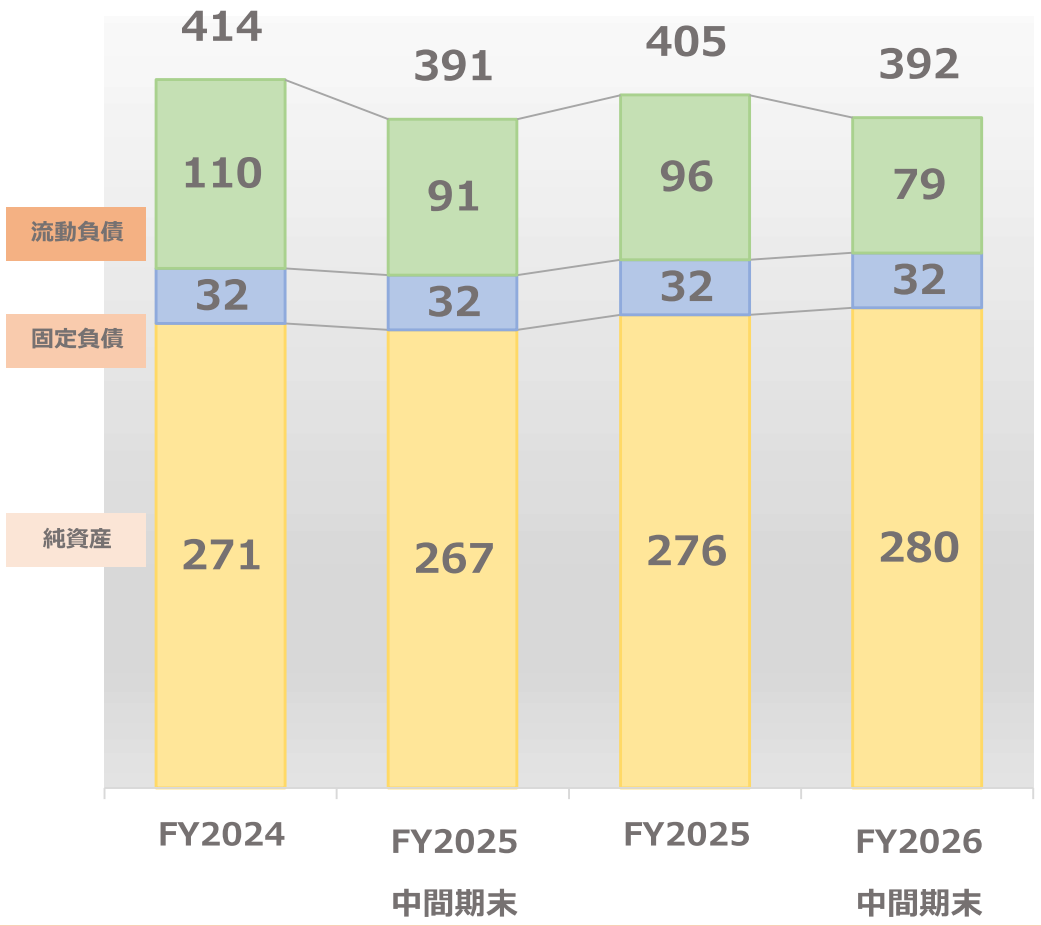
■資産の部

単位：億円



■負債・純資産の部

単位：億円

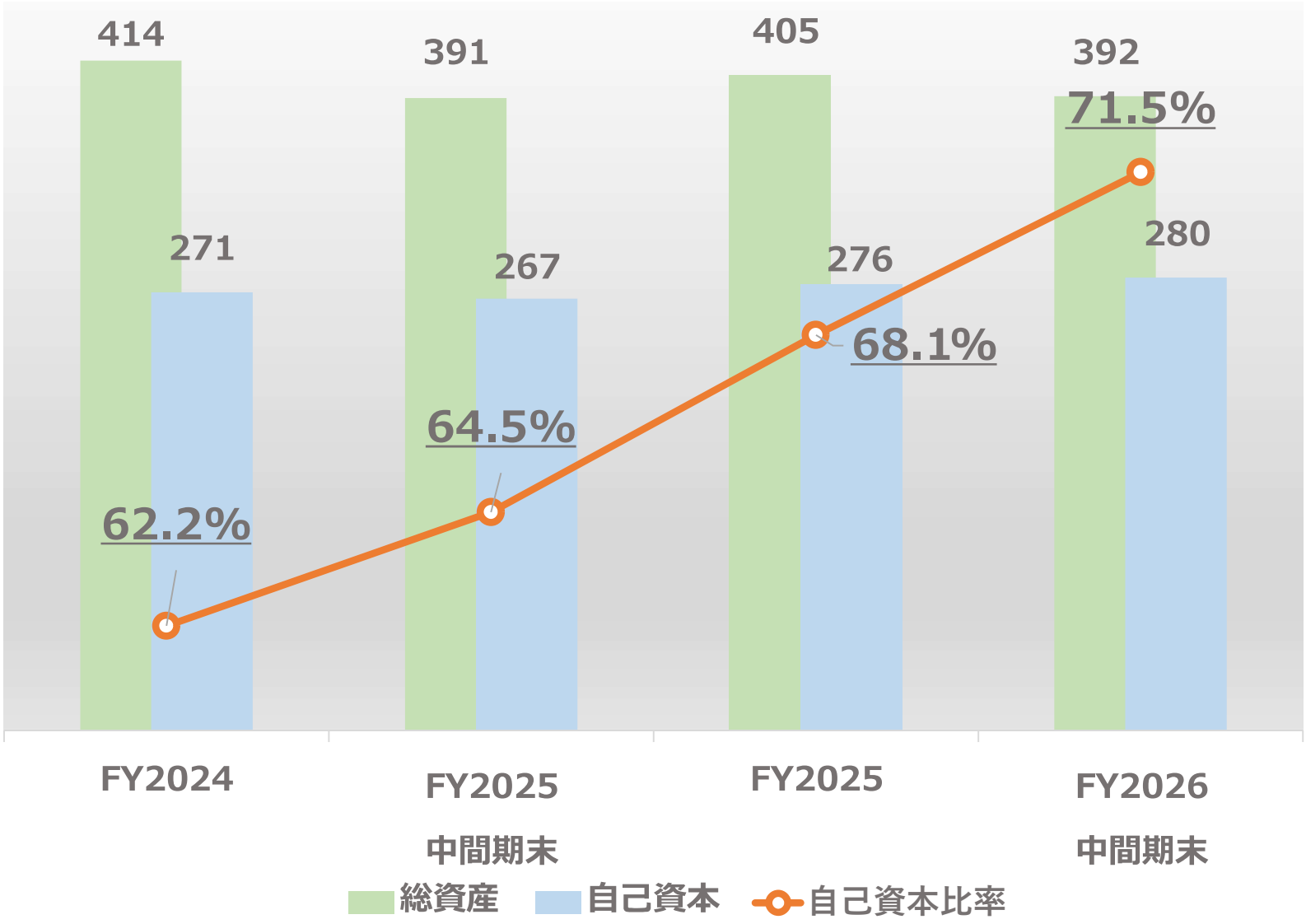


© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 純資産

自己資本比率は71.5%と前期比3.4%上昇

単位：億円



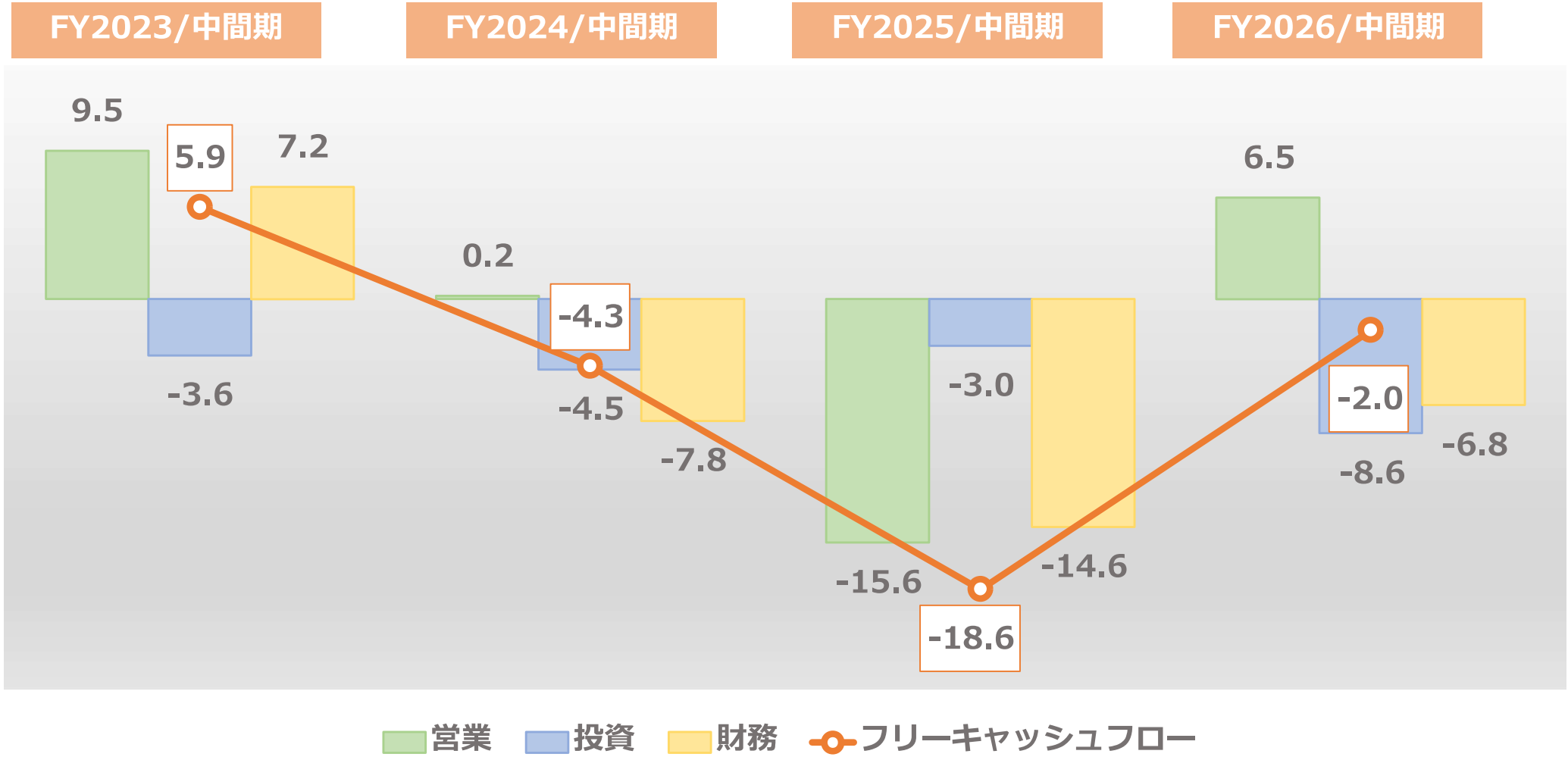
© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ キャッシュフロー

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

営業CFは純利益の計上、仕入れ債務の減少などにより6.5億円
財務CFは配当金（1株あたり35円）支払などにより△6.8億円

単位：億円



© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績予想

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期の見通し

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

事業環境

- 新築需要は引き続き減少の見通し
- 人手不足に起因する前工程の遅延、建設コスト高騰による建設計画の中止・延期
- 中東情勢の影響による資材調達懸念、調達価格上昇など先行きは一段と不透明

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期の見通し

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

当社方針

- 営業面では技術提案を中心に設計織込み営業を強化
  競争力のある商品と工法を市場に投入し、さらに受注を拡大
- 工事面では引き続き高レベルの期首受注残高を維持しており、
  工事施工の確実な実行に注力
- 資材・労務・物流・設備等のコストアップの転嫁と一層のコスト低減強化
- 「施工品質」と「製造品質」の向上
  （2026年4月に品質管理部を新設）
- 現場生産性の向上を進め、「業界最高レベルの商品力・営業力・工事力」による好循環を創出

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

通期業績予想

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

売上高は、前工程遅れ等により当初予想比5億円減収の465億円
経常利益は、売上利益率の改善、販売費及び一般管理費の削減等により、
当初予想比1億円(2.8%)増益の37億円

（2026.10.30公表修正）

単位：億円

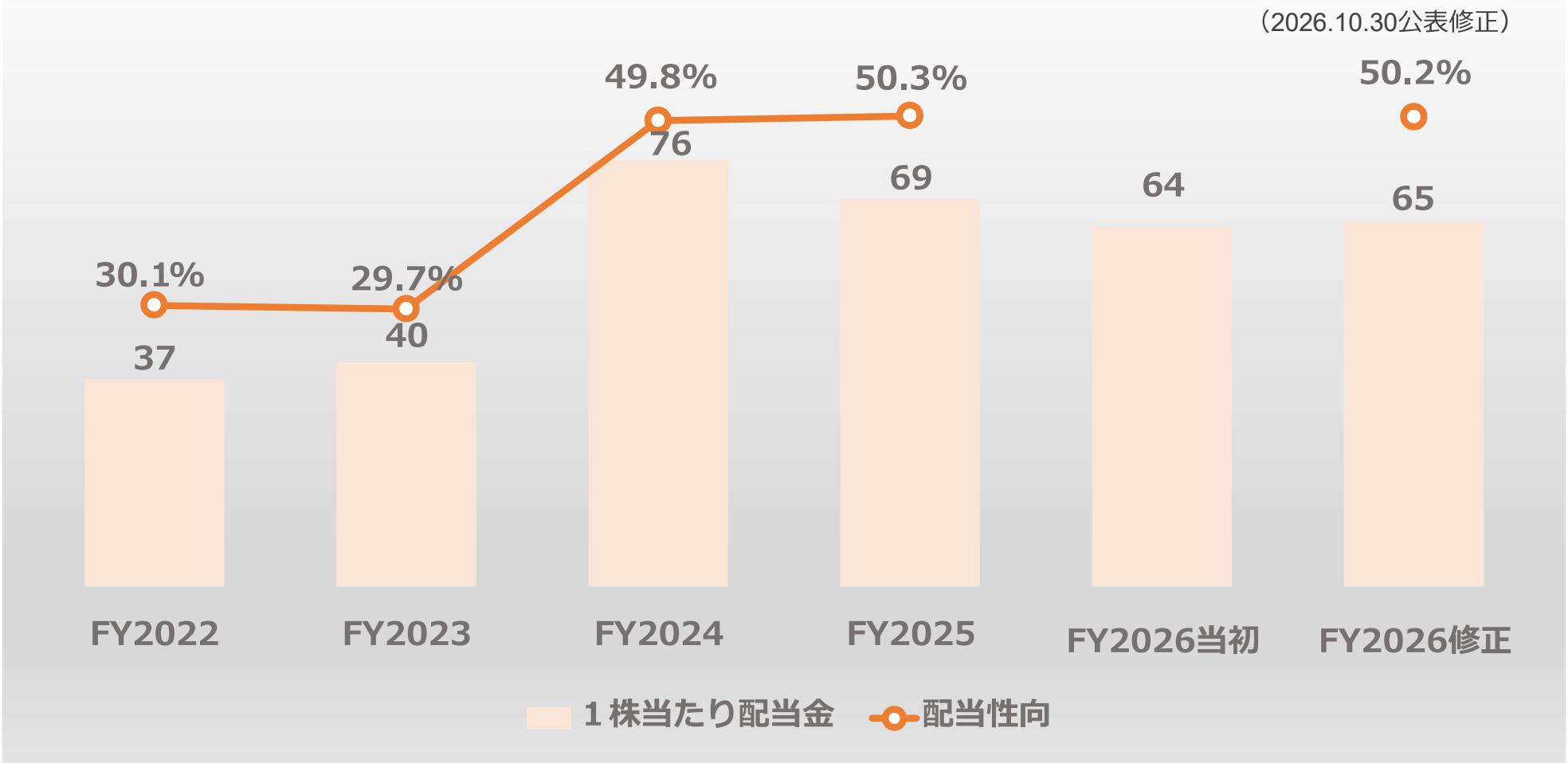
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 当初予想	FY2026 修正予想	対 FY2025 比較	対 FY2026 当初予想 比較
売上高	397	429	453	470	470	465	△5	△5
経常利益 ROS	33.6 8.5%	37.0 8.6%	41.3 9.1%	38.4 8.2%	36.0 7.7%	37.0 8.0%	△1.4 △0.2%	+1 +0.3%
当期純利益	23.7	25.9	29.4	26.4	24.5	24.9	△1.5	+0.4

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ 配当実績・予定

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

2024年度より配当性向目安を30%から50%に見直し
2026年度は当初予定64円/年から1円増配し65円/年配当を予定
1円増配は中間配当として実施（30円⇒31円）



※2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施
　過年度についても株式分割後と仮定して表示

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ Q&A

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

Q１：マーケット環境はどうか？

Ａ１：新築需要の目安となる全国非住宅鉄骨造着工床面積は、2022年度以降前年比で減少を続けており、2026年度もp30に記載の通り前年比で14.1%減少しております。
今後も少子高齢化や人口減少といった構造的要因を背景に中長期的な建設需要の縮小は避けられないと考えております。
一方、スポーツ施設や鉄道等インフラ施設、改修工事案件については、一定の需要が見込まれると考えております。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

➢ Q&A

空と人のあいだに
三晃金属工業株式会社
Sanko

Q２：環境が悪いようだが、受注高が伸びた要因は？

A２：着工床面積は減少傾向が続きますが、スポーツ施設、鉄道関連施設、物流倉庫、工場施設、改修工事案件等の大口契約案件を受注することができました。
その要因は、提案型営業による当社製品の設計織り込み活動や、工事営業（完成引き渡した工事を評価頂いたことによるリピート受注）の強化などにあると考えております。
引き続き、高品質、高機能、省力化、高生産性等のニーズに応えることにより顧客からの信頼を獲得できるよう努めてまいります。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Q&A

Q３：受注高、売上高、受注残高の関係は？

Ａ３：従来、受注高と売上高は同レベルで推移していましたが、2021年度頃から受注残高が増加傾向で推移しております。
これは、売上高の伸長トレンドの中、売上に先行する形で受注高が拡大していることによります。
また、当社の顧客の主体となるゼネコン各社の発注タイミングが早くなってきていること、人手不足、中東情勢等の要因による前工程の遅れによる当社着手時期の後ろ倒し、時間外労働の上限規制適用による工期自体の延長等も受注残高増加の要因であると考えております。
なお、当中間期においては、売上が前年同期比減少となりましたが、受注は概ね順調に獲得できたことにより、受注残高は大幅に増加いたしました。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Q&A

Q４：諸資材価格は上昇傾向にあると思うが、売上利益率が改善したのは何故か？

A４：様々な建設コストが上昇しておりますが、上昇したコストは適切に価格転嫁させて頂く努力をしております。また、原価管理に関わる社内の検討体制を見直した成果もあり、売上利益率は改善いたしました。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Q&A

Q５：配当方針を見直す予定はないか？

Ａ５：株主還元方針につきましては、2025年1月に配当性向を30%目安から50%目安に変更いたしました。
利益により配当金は増減はいたしますが、現在のところ配当性向50%を変更する予定はございません。

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料は、当社の財務情報、経営情報等の提供を目的としております。

本資料には将来の見通しに関するものが含まれておりますが、これらの情報は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいたものであり、将来の業績予想を保証するものではありません。

今後、新しい情報・出来事があった場合において、本資料に含まれるいかなる情報についても、更新又は改定を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

三晃金属工業株式会社 経理部

TEL:03-5446-5601

FAX:03-5446-5629

© 2026 Sanko Metal Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.